

都市再生整備計画(第1回変更)

しょうわ
昭和地区

ちば 千葉県 そでがうらし 袖ヶ浦市

平成20年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	袖ヶ浦市	地区名	昭和地区	面積	51.9 ha
計画期間	平成19年度～平成21年度	交付期間	平成19年度～平成21年度				

目標
大目標: 東京湾アクアラインの波及効果を活かした京浜地区との新たな交流を創出し、本市の財産と魅力をさらに増進させ、新しい価値と文化を創造した新田園交流都市「ひと、緑、光かがやくまち袖ヶ浦」の実現を目指す。 目標1: アクアラインの玄関口にあたる高速バスターミナルの機能を向上させることにより、京浜地区からの来訪者の増加を図り、まちのにぎわいを創出するとともに市民生活の向上を図る。 目標2: バスターミナル内に情報発信の拠点を新設し、市の観光施設等のPRをすることにより観光客の増加を図るとともに、交通情報や市民への広報活動についても併せて情報発信する。 目標3: アクアラインを利用した京浜地区とのスポーツを通じた地域間交流を深めるために、京浜地区との野球の交流試合等を実施して、スポーツ振興と青少年の健全育成の充実を図る。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 袖ヶ浦市は、首都圏近郊整備地帯の外縁部に位置し、東京都心部からは約40kmの距離にある。昭和40年代から首都圏のベッドタウンとして急速に宅地開発が進み、本地区隣接地においても組合区画整理事業により市街地整備が行われ急激な人口の増加をもたらした。交通網としては、広域産業道路である国道16号線が縦断し、周辺には平成7年に供用開始した東関東自動車道館山線や平成9年に開通した東京湾横断道路及び同連絡道路に新設された袖ヶ浦ICによって、交通利便性が飛躍的に向上している。 これまで千葉県と他都県の交流は、そのほとんどが県北西部からのルートに限定されていたところであるが、東京湾横断道路の開通により本県・本市の新たな玄関口となり、人・物・情報の流れの変化が予想された。そのため、本市としても、東京湾横断道路の整備効果を楽しむため、また市民の新たな交通手段の確保といった観点から高速バスターミナルの整備を図った。 袖ヶ浦バスターミナルは、平成9年12月にアクアライン高速バスのパークアンドバスライド型ターミナルとして供用開始され、今年で9年目を迎えた。国道16号線と袖ヶ浦ICに隣接するという立地条件の優位性に併せ、市営駐車場及び民間駐車場も充実し、本市のみならず近隣市を含む広域的な公共交通の柱としてその重要性を増している。 しかし、当初の予想をはるかに上回る利用状況となったため、バスの大幅な増便や送迎自動車の増加等により、新たに乗降場を確保する必要性が生じ、また、構内はもとよりバスターミナルから袖ヶ浦駅を繋ぐ道路の安全性及び利便性等の面において問題が発生している。 また、本市の観光面については、これまで観光に対するPRが不足しており、アクアラインの効果が十分に発揮されていないため、他市への観光客の流出が見られる。
課題 ・利用者の大幅な増加により、施設の改修、構内・外の安全性の確保が必要となっている。 ・高速バス利用者への交通情報の提供と観光PR、及び市内の利用者への市政情報の提供が求められている。 ・アクアラインを活用した京浜地区との人の交流が求められている。
将来ビジョン(中長期) ・本地区を包括する袖ヶ浦駅周辺地区は、市役所をはじめ主要な公共公益施設や銀行等の業務施設が集積し、臨海部には石油化学を中心とする工場群が林立する地域であり、本市の行政及び経済の中心核を形成している。本市の総合計画では、中心核としての機能を担う地区として東京湾アクアラインの開通による広域交通利便性の向上にあわせ、活発な人的交流を支援するとともに、袖ヶ浦駅北側地区の都市基盤整備を進め、「個性的で魅力あふれる都市拠点」の実現を図ると位置づけている。 ・子供を取り巻く社会環境は、少子化、核家族化等の様々な問題を抱える中で、本市の特徴を生かし、スポーツを通じた心の豊かな子供の育成を目ざし、本市の総合計画において青少年健全育成の推進を位置付けている。

目標を定量化する指標							
指 標		定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
	単 位						目標年度
高速バス利用者数	人/年	高速バスの年間利用者数	袖ヶ浦バスターミナルの機能向上による利用者の増	960,000	16	1,020,000	21
高速バス運行系統数	系統	袖ヶ浦バスターミナルを経由する高速バスの運行系統数	袖ヶ浦バスターミナルの機能向上によるアクアラインを利用した京浜地区との交通の便の増	4	18	6	21
野球場の県外交流試合参加者数	人/年	野球場年間利者数(県外交流試合の参加者数)	アクアラインを利用した京浜地区との交流人口の増	0	18	700	21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1(広域交通拠点の機能向上) ・広域交通拠点である高速バスターミナルの機能の向上を図り、来訪者の増加と利用者の利便性の向上を図る。		道路(基幹事業:市道坂戸市場19号線整備事業、市道神納7号線整備事業)、地域生活基盤施設(基幹事業:駐車場整備事業、自転車駐車場整備事業、情報板整備事業)、高次都市施設(基幹事業:[複合交通センター]袖ヶ浦バスターミナル整備事業)、地域創造支援事業(提案事業:高速バス専用レーン整備事業)
整備方針2(情報発信施設の整備) ・市の観光資源をPRし、観光客の増加を図ることと、高速バス利用者への交通情報の提供及び市民向けの広報サービスを複合的に行う総合情報案内板を整備する。		地域生活基盤施設(基幹事業:総合情報案内板整備事業)
整備方針3(総合運動場の整備) ・市内外の利用者に親しまれる総合運動場(市営球場)の再整備と、バスターミナルから総合運動場までの誘導案内板等の整備により、スポーツの振興と青少年の健全育成の充実を図る。		地域生活基盤施設(基幹事業:施設誘導案内板整備事業)、地域創造支援事業(提案事業:総合運動場改修事業[電気工事])、関連事業(スポーツイベント交流事業、総合運動場改修事業[建築工事])
その他		

交付対象事業費	332	交付限度額	118	国費率	0.355
---------	-----	-------	-----	-----	-------

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道坂戸市場19号線	袖ヶ浦市	直	235m	19	19	19	19	32	32	32		32
		市道神納7号線	袖ヶ浦市	直	65m	19	19	19	19	8	8	8		8
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	袖ヶ浦市	直	—	19	21	19	21	56	56	56		56
高質空間形成施設		—												
高次都市施設		—	袖ヶ浦市	直	—	19	20	19	20	117	117	117		117
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										213	213	213	0	213

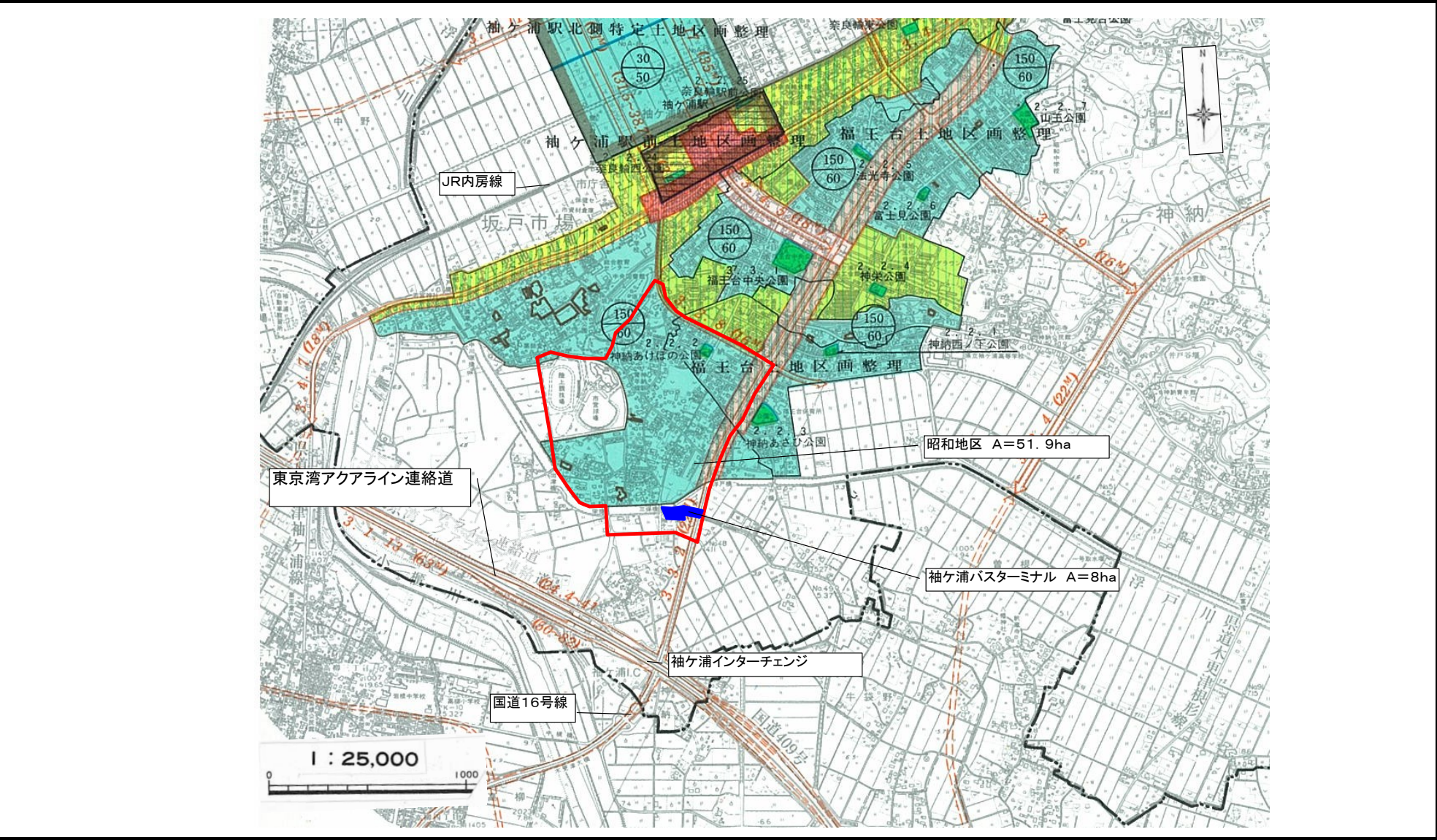
...A

事業	事業名	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	高速バス専用レーン整備事業	—	袖ヶ浦市	直	—	19	19	19	19	35	35	35		35
	総合運動場改修事業(電気工事)	—	袖ヶ浦市	直	—	20	20	20	20	84	84	84		84
		—			—									0
		—			—									0
事業活用調査		—			—									0
		—			—									0
まちづくり活動推進事業		—			—									0
		—			—									0
合計										119	119	119	0	119

...B

[illegible]

昭和地区(千葉県袖ケ浦市)	面積	51.9 ha	区域	坂戸市場、神納、神納1丁目の一部
---------------	----	---------	----	------------------



昭和地区(千葉県袖ヶ浦市) 整備方針概要図

目標	東京湾アクアラインの波及効果を活かした京浜地区との新たな交流を創出し、本市の財産と魅力をさらに増進させ、新しい価値と文化を創造した新田園交流都市「ひと、緑、光かがやくまち袖ヶ浦」の実現を目指す。	代表的な指標	高速バス利用者数	(人／年)	960,000	(16年度)	→	1,020,000	(21年度)
			高速バス運行系統数	系統	4	(18年度)	→	6	(21年度)
			野球場の県外交流試合参加者数	(人／年)	0	(18年度)	→	700	(21年度)

